

事業概略書

事業名	オープンスタンダードとオープンソースによる支援技術開発戦略の調査研究
事業目的	情報支援において高価なハードウェアとソフトウェアの普及を進めることで対等の情報アクセスを保障するという伝統的な支援にたいして、先進国においても経済危機の中でその先行きを危惧し、別の途を求める声が強くなっている。そのような問題の解決策として推奨されるオープンスタンダードに基づくオープンソースソフトウェアについて、国際的な動向を把握するとともに、日本における実装可能性について、実証的な評価を行い、知見をまとめると共に提言をまとめることが研究の目的である。
事業概要	支援技術研究開発戦略におけるオープンスタンダードに基づくオープンソースの利点と社会実装上の問題点を明らかにするために、国内外の現況の検討と典型的なオープンスタンダードであるDAISY(Digital Accessible Information System)とそのオープンソースのアプリケーションであるSave as DAISY Translatorを用いて、兵庫県LD親の会たつの子の協力を得て、地域の問題解決と発達障害者等の雇用創出の可能性を探るとりくみを行った。
事業実施結果及び効果	<p>1 十分な配慮と支援体制を作ることによって、無償のソフトを活用して従来高度の研鑽を積んで製作してきたマルチメディアDAISYコンテンツを効率よく発達障害の青年に技術移転できることが示唆された。</p> <p>2 オープンスタンダードとオープンソース・ソフトウェアの利点である(1)個別対応、(2)低い参入障壁、(3)障害者の積極参加等が実証できたと考える。</p> <p>3 移転された技術と成果物という眼に見える成果と共に、10名の発達障害を共通に抱える青年たちの家族も含めたつながりが形成され、それを持続したいという思いは、DAISYを自分のものとして推進するコミュニティーの形成の萌芽ととらえることができる。</p> <p>4 従来は製品化して市場に出すことをもって普及とみなしてきたが、潜在利用者が二千万人に及ぶと想定されるDAISYの日本における普及には市場を通じる以外にもう一つの途がありうることが示唆された。</p>
事業主体	〒182-0003 東京都調布市若葉町1-1-61-101 特定非営利活動法人 支援技術開発機構 TEL : 03-5384-7207 E-MAIL : atdoinfo@gmail.com

- (注) 1. 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するので、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
2. 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途、実施した事業についての報告書冊子を必ず提出すること。